

ちばの地域福祉

「いよいよ生活困窮者自立支援法はじまります」

千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 副会長 吉野智

平成27年度よりいよいよ生活困窮者自立支援法が本施行となります。福祉事務所のある自治体では自立相談支援事業が必須事業となります。

ここでは本制度の仕組みの解説はいたしません。中核地域生活支援センター（以下、中核センター）も担ってきた生活困窮者への支援が法定化されるということで、それぞれの地域において改めて相談支援体制を考える機会となるのは間違いありません。

県内において、自立相談支援事業について中核地域生活支援センター事業を運営している法人が、中核センターと並行して一体的な実施体制を整えて受託する場合もあれば、中核センターとは別の事業体、例えば社会福祉協議会などが受託する場合がありますし、自治体が直営で運営する場合があります。いずれにしても大事なことは、前述したとおりそれぞれの地域で如何に必要な相談支援体制を構築、あるいは強化することに繋げることが出来るかどうかだと考えております。

私たち千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会としては、10年間の総合相談の支援実績と、そこで培ったノウハウやスキルを生かして生活困窮者自立支援法の有効な実施にも尽力したいと考えているのは事実ですが、そのことと、中核センターの使命・機能の存続が同時に議論されてはいけなと強く考えております。社会福祉制度は変遷を続けておりますが、その時代において求められる機能として、中核センターは変容しながら、どのような事態にも対応していく使命があります。ですから、ひとつの制度変遷に振り回されることがあってはなりませんし、何かに代替するような考え方で設置されているものではないはず。あくまで中核センターには独自の使命・機能が存在し、それらが必要であるかどうかという視点です。

各種制度が成熟し、そして有機的に連携され、地域で十分な相談支援体制、セーフティネットが構築された段階で、中核センターの必要がなくなる時もあるかもしれません。今はまだ、その段階ではないと確信しております。

ちばの福祉力・社会資源

ライトハウスちば

【設置の背景】

現在、多くの子どもや若者とその家族がニート、ひきこもり、不登校、フリーター等に関する多様な問題の悩みを抱えています。千葉県には学校生活・社会生活における問題に対して既存の相談窓口が設置されていますが、いざ相談したいという時に複合的な問題が多くからんでいます。「どこに相談したらいいかわからない」・「どこにどのような相談窓口があるかわからない」という方も多く、県では、困った時、迷った時に「まず最初に」相談していただける総合相談窓口、平成24年7月に千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」を設置することとしました。

【概要】

ライトハウスちばでは、子どもや若者（おおむね40歳未満の方）及びそのご家族からの相談を相談員が電話やメール等で承り、ご相談に応じた専門機関をご案内致します。また、ライトハウスちばでは相談者のお話をしっかりお伺いする、傾聴する姿勢を重視している為、メール等での相談受付はしていますが、まずは一度電話して頂き相談内容を伺っています。その後、電話による相談を通じて必要な情報をご提供し、それぞれの問題に対応した県内の支援機関をご紹介します。

【名前の由来】

ライトハウスは、「燈台（とうだい）」という意味です。闇夜でも、船が「燈台」の明かりを頼りに航海するように、悩みを抱えて迷っている子どもたち、若者たちに明るく輝いてその存在を示し、まずはここに相談をしてきてほしいという願いを込めました。

房総半島の犬吠崎、野島崎などの燈台が沖を航行する船の安全を常に見守っているように、この「ライトハウスちば」が悩んでいるみなさんの心のよりどころとなることをめざしています。

【相談受付について】

電話：043-301-2550

FAX：043-287-8818

火曜日～日曜日 午前10時～午後5時まで

（月曜日が祝日の場合は相談受付あり、その場合翌火曜日は相談受付休みとなります）

相談受付専用メールアドレス lighthouse@abeam.ocn.ne.jp

WEBサイトアドレス <http://www.lighthouse.pref.chiba.lg.jp>

（WEBサイト上の「相談用フォーム」からも相談受付をしています）

（メールや相談用フォームでの相談は受け付けのみで、原則電話相談になります）

ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

山武地域で活動している「ママが元気になる会」代表の石井千佳さんをご紹介します。

ママが元気になる会は、平成 24 年山武圏域自立支援協議会障害児部会の第 1 回ペアレントサポートワークショップに参加された石井さんが、「子どもの幸せの為に、まずママの幸せから」、そんなコンセプトのもとに他の参加者と共に立ち上げた会です。

石井千佳さんにお話しを伺ってきました。

この会は、発達障害の中でも自閉症スペクトラムと呼ばれる、少し前はアスペルガー障害や高機能自閉症と言われた障害を持つ、知的な障害がない強いこだわりや感覚過敏などの生きづらさをかかえる子ども達のママの会です。



見た目が健常者と変わらない為に、周囲からの理解が得られず、「しつけが悪い」と非難される事も多く、ほとんどのお母さんが精神的にとっても辛い思いをされています。そんなお母さん同士が支え合って、乗り越えていこうというのが、この会の目的です。子どもを変えるのではなく、子どもの気持ちや感じ方を理解し、こちらの対応を変えていく方法を勉強したり、お母さん自身の気持ちを整える方法を考えたりしています。

話すことで少しでも気持ちが楽になり、元気になれる、そんな場にしていきたいと思います。医師の診断を受けていなくても構いません。お気軽にご参加くださいと話されていました。

「ママが元気になる会」は「ラウレ・ア オハナ」という名前で、ハワイ語で「幸せな家族」という意味です。自分の家族だけでなく、ここに集う人達が家族のようになったらという願いがこめられています。

現在会員は 13 名、子どもの年齢は 4 歳～18 歳、東金市・大網白里市を中心に活動しています。会合では会員が研修会に参加した情報を伝えたり、自分自身の体験談よりアドバイスされたり、活発に意見交換されていました。ママ達のとても生き生きとした表情が印象に残っています。

日 時：毎月第 2 木曜日 10：00～12：00

場 所：東金市ふれあいセンター

（場所はホームページ、電話にて確認をお願いします）

参加費：無料

***親御さんのみの参加でお願いします**

ママが元気になる会 「ラウレ・ア オハナ」

<http://mama-ohana.webnode.jp/>

TEL (石井) 080-5530-9840





ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

第6回 はーとふるメッセ実りの集い

- [内 容]** はーとふるメッセ実りの集いは、『働く障害者の仕事に光を当て、一人ひとりの豊かな社会参加を目指す！』をテーマに、障害のある人が豊かに地域で暮らすことの意義を広く問いかけるイベントです。ぜひご参加ください！
- [プログラム]** ≪販売≫障害者福祉事業所で作られ、磨き上げられた品々の販売をします。
≪表彰式≫「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2014」として、優れた製品を選定する食品部門・非食品部門を設け、大賞、奨励賞、審査員特別賞を贈ります。
≪講演ライブ≫小澤綾子さんのスペシャル講演ライブ！
≪展示≫工賃向上を取り巻く環境をパネルで紹介します。
- [日 時]** 平成27年3月24日（火）10：00～17：00
- [場 所]** イオンモール幕張新都心 グランドモール グランドコート
- [参加費]** 無料 [申 込] 不要
- [問合せ先]** 千葉県障害者就労事業振興センター（事務局）
〒260-0856 千葉市中央区亥鼻2-9-3
TEL：043-202-5367 fax：043-202-5368

第7回 世界自閉症啓発デーin ちば『みんな大切な仲間です』

- [内 容]** 毎年4月2日は国連が定めた世界自閉症啓発デーです。この日を中心に世界及び日本各地で自閉症に関する啓発イベントが開催されます。千葉県では、4月4日に世界自閉症啓発デーin ちばが開催されます。皆様ぜひご参加ください。
- [プログラム]** 「ちゃんぷる～元気～フェスタ」
○キャラバン隊いちょう公演『自閉症ってなあに！』
（出演）千葉県立市原特別支援学校 PTA キャラバン隊
○ミニコンサート
○ピアノ&バンド演奏
○レンコンバンド&ダンサーズ
○三味線弾き語り・華菜枝
○パネル展示・お菓子や加工品の販売
- [日 時]** 平成27年4月4日（土）11：00～17：00
- [会 場]** Qiball（きぼーる）1階アトリウム（千葉市中央区中央4-5-1）
- [問 合 せ]** 千葉市発達障害者支援センター
TEL：043-303-6088
- ※ 4月2日～4月8日（発達障害啓発週間）18時～21時千葉ポートタワーがブルーにライトアップされます。

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：長生ひなた（長生圏域）茂原市長尾2694

TEL:0475-22-7859

FAX:0475-22-7844

編 集：いちほら福祉ネット(市原圏域)市原市東国分寺台3-10-15

TEL:0436-23-5300

FAX:0436-23-5225

※内容についてのお問い合わせは、いちほら福祉ネット（担当：高地）までお願いします。